

都市再生整備計画(第5回変更)

あまのいわと
天岩戸地区

宮崎県 たかちほ
高千穂町

令和2年9月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	宮崎県	市町村名	高千穂町	地区名	天岩戸地区	面積	153	ha
-------	-----	------	------	-----	-------	----	-----	----

計画期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度	交付期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度
------	--------------------	------	--------------------

<p>目標</p> <p>大目標: 神都高千穂の活性化をサポートする岩戸の顔づくり 目標1: 岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり 目標2: 岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまちづくり 目標3: 岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり</p>

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりの経緯 <ul style="list-style-type: none"> ・岩戸地区では天岩戸まちづくりの会が組織され、地元商店会や公民館と共に岩戸の賑わいづくりを目指して、地域の魅力の発信、岩戸地区内の観光ルートマップ作成、天岩戸神社の参道となる門前通りにおける季節に応じた飾り付けなど様々な活動を展開している。 ・平成16年12月に地域住民が主体となり地域の中心部である天岩戸神社参道周辺の商店街における街並み観察(タウンウォッチング)を含むワークショップを開催し、「天岩戸のまちの風景をつくる私たちの暮らし」をテーマとした参道の街並みのあり方について提案を行っている。 ・旧高千穂鉄道を利用した観光活性化を図るため、旧高千穂駅から旧天岩戸駅区間においてスーパーカート(トロッコ列車)の運行が行われている。 ●まちの現況 <ul style="list-style-type: none"> ・高千穂町には宮崎県で最も多い年間約140万人もの観光客が訪れているが、宿泊客数は総観光客数のその1割にとどまっており、典型的な通過型の観光地となっている。 ・高千穂町の代表的観光スポットである天岩戸神社が立地し、春季及び秋季大祭時や観光オンシーズン時には多くの観光客が訪れている。 ・岩戸地区へのアクセスは自家用車が主体であり、大祭開催時には多くの自動車地区内に流入し、駐車場のキャパシティが需要に追いついていない状況にあり、これが要因となって地区内道路において渋滞も発生している。 ・天岩戸神社は春季・秋季大祭時には多くの観光客が訪れるものの、これ以外の時期においては観光客の来訪が比較的少なく、年間を通じた賑わいに欠けている。 ・天岩戸神社の参道を形成する門前通りは岩戸地区の商業拠点としての位置づけにあるが、周辺の街並みも含めて参道としての雰囲気不足、また、天岩戸神社には多くの観光客が訪れているものの人通りが少ない状況にある。

<p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> ①神都高千穂を象徴する歴史・文化資源である天岩戸神社の活用や滞在時間の延長によるまちの活性化に向け、神々の郷としての雰囲気づくり、訪れる人の利便性を高めるサービスの提供・滞在時間の延長を図る必要がある。 ②天岩戸神社を訪れる多くの観光客を門前通りに誘導し、まちの賑わいを演出するためや、渓谷沿いの神秘的な自然景観を楽しむための基盤整備や仕掛けづくりが必要である。 ③門前通りの岩戸地区の商業拠点としての賑わいの回復を図るための取組が必要である。

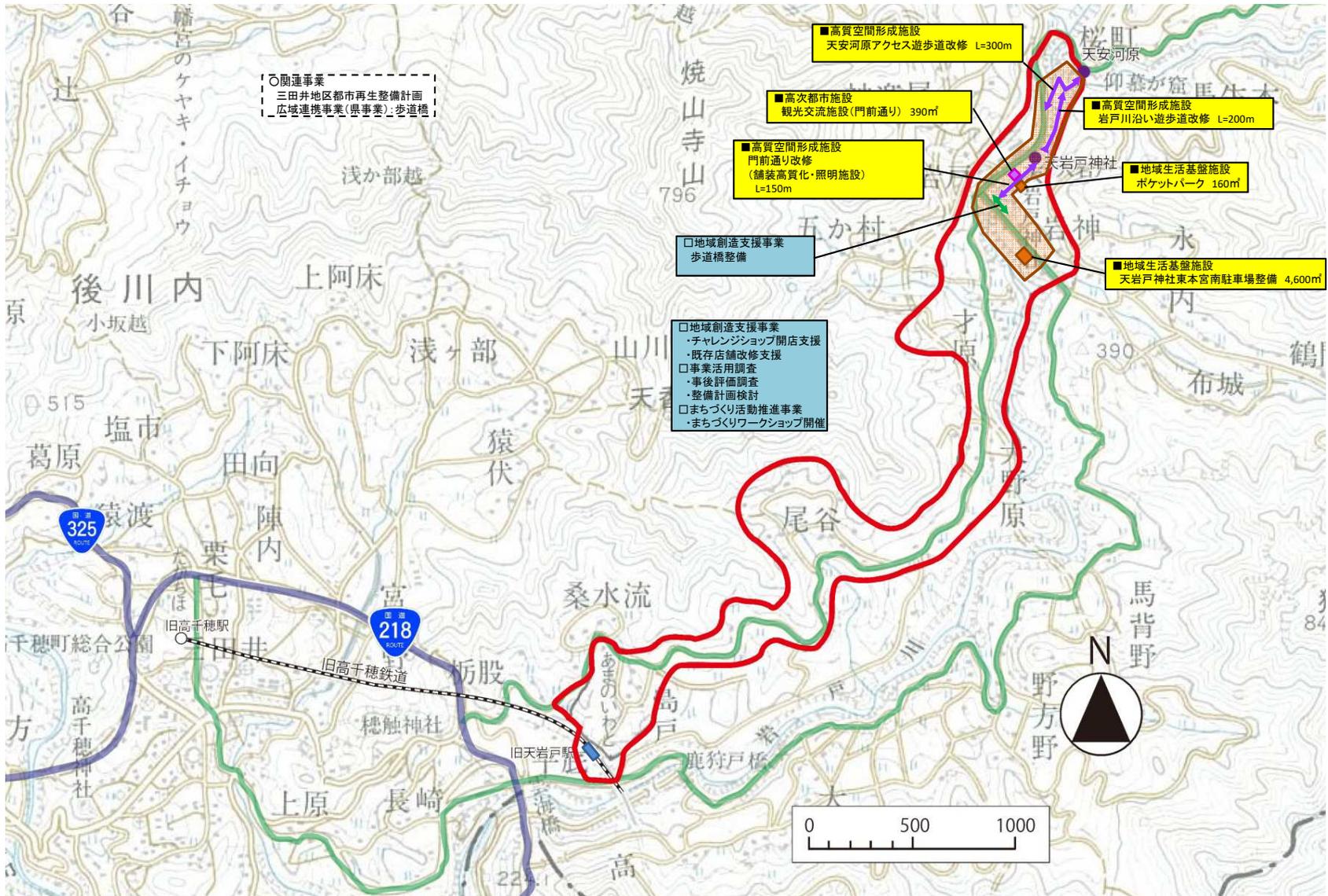
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■第5次高千穂町総合長期計画 <ul style="list-style-type: none"> ●まちの将来像:「この町に生まれてよかった」「この町に住んで良かった」と実感できる理想の町づくり ●まちづくりの施策 <ul style="list-style-type: none"> 【魅力ある観光地づくり】 → リピーターや滞在客などを増やすメニューづくりなどの施策について町観光協会と協議しながら、観光行政を積極的に行う。 【まちづくり】 → 自分達の生活スタイルを大事にすることが、元気の源であり、環境や景観がこれから先も大切な地域の財産であることを基本にまちづくりに取り組む。 【商業の振興】 → 農林業や商工業、観光業の連携を強化して商店街の活性化に努める。 ■阿蘇くじゅう観光圏整備計画 <ul style="list-style-type: none"> ●コンセプト:「阿蘇カルデラ」～命きらめく草原の王冠～ ●観光圏整備のイメージ:住む人が心から誇りをもてる「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりで、日本を代表する世界レベルの滞在型観光地を目指す。 ●高千穂町の位置づけ:全国的に有名な「高千穂の夜神楽」や「高千穂峡」があり、宿泊施設も充実していることから、「高千穂郷滞在促進地区」としての位置付けにある。 ●高千穂郷における取り組み方針:「神々の足跡をたどる建国の道の整備」として、観光資源の調査と周遊環境の整備を行い、案内機能の充実を図り、周辺住民と連携した滞在化を推進するものとしている。 ■高千穂町観光マスタープラン <ul style="list-style-type: none"> ●基本テーマ:日本発祥の地「神都 高千穂」計画 ●プランの方策 <ul style="list-style-type: none"> 【高千穂のブランド化】 → 「日本発祥の地 高千穂」のブランド化にむけた機運醸成、地域資源を活かした魅力ある観光地づくり 【観光地としての基盤整備】 → 観光施設の整備(サイン、高千穂鉄橋の整備、まちなか観光の推進等)、宿泊施設の整備及びサービス向上、観光客の利便性の向上(旅行環境、交通アクセス)、広域連携の推進(阿蘇くじゅう観光圏等) 【新たな観光(ニューツーリズム)の創出】 → 「神都 高千穂」観光プログラムの開発 【国際観光の推進】 → 外国人観光客の受け入れ体制・環境の確立、魅力の効果的な発信 【広報・宣伝】 → メディア戦略、営業、キャンペーン

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
高千穂町入込観光客数	千人/年	高千穂町を訪れる年間入込観光客数	入込観光客数の増加が、目標に掲げる「歴史・文化資源を活用する魅力あふれるまち」としての機能向上の度合いを示す。	1,429	平成26年	1,513	令和2年
宿泊観光客数	千人/年	高千穂町に宿泊する年間観光客数	宿泊観光客数の増加が、目標に掲げる「回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまち」としての機能向上の度合いを示す。	147	平成26年	162	令和2年
観光客消費額	億円/年	高千穂町を訪れる観光客の年間総消費額	観光客消費額の増加が、目標に掲げる「商業・観光の活性化による活気あるまち」としての機能向上の度合いを示す。	35	平成26年	38	令和2年

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩戸固有の観光資源、歴史・文化(天岩戸神社、天安河原、神楽など)の情報発信機能と住民や観光客の交流・体験・集い機能が集積した交流拠点の形成を図る。 ・岩戸固有の観光資源、歴史・文化の魅力の発信、資源間の回遊性の強化を図る。 ・神々の郷としての雰囲気づくりを図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社及び天安河原周辺の環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める周辺住民と連携した滞在型観光地を目指すために、周辺住民のまちづくりへの積極的な参画を図る。 	<p>●基幹事業 【高次都市施設】:観光交流施設(門前通り)</p> <p>●提案事業 【事業活用調査】:事後評価調査</p> <p>●関連事業 三田井地区都市再生整備計画</p>
<p>●岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神都高千穂に相応しい雰囲気づくりや通りの回遊性、全ての人々が利用しやすい環境を高めるため、安全・快適な歩行者空間の形成を図る。 ・観光客の利便性向上やまち中への誘導効果を高めるため、パーキング機能の強化を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社及び天安河原周辺の環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 	<p>●基幹事業 【地域生活基盤施設】:駐車場整備(天岩戸東本宮前1か所)、ポケットパーク(広場) 【高質空間形成施設】:門前通り、岩戸川遊歩道、天安河原アクセス遊歩道</p> <p>●提案事業 【事業活用調査】:事後評価調査、整備計画検討</p> <p>●関連事業 三田井地区都市再生整備計画 広域連携事業(県事業):歩道橋</p>
<p>●岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・門前通りの賑わいを高めるため、空き店舗を活用した取り組みの展開を図る。 ・住民が主体となったまちの活性化方策やまちづくりの進め方を検討する場の提供を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社及び天安河原周辺の環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める周辺住民と連携した滞在型観光地を目指すために、空き店舗を活用したチャレンジショップ開店支援等を実施する。 ・既存店舗の街並み景観を景観を神々の郷としての雰囲気作りに取り組み、商業の活性化に展開を図る。 	<p>●提案事業 【地域創造支援事業】:空き店舗を活用したチャレンジショップ開店支援、既存店舗改修、歩道橋整備(岩戸川) 【まちづくり活動推進事業】:まちづくりワークショップ開催 【事業活用調査】:事後評価調査、整備計画検討</p> <p>●関連事業 三田井地区都市再生整備計画</p>
<p>その他</p>	

あまのいわと たかちほちょう
天岩戸地区(宮崎県高千穂町)整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	神都高千穂の活性化をサポートする岩戸の顔づくり	代表的な指標	高千穂町入込観光客数 (千人/年)	1,429 (平成26年度) →	1,513 (令和2年度)
			宿泊観光客数 (千人/年)	147 (平成26年度) →	162 (令和2年度)
			観光客消費額 (億円/年)	35 (平成26年度) →	38 (令和2年度)



凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

施設(高次都市施設・誘導施設等)必要性

都道府県	宮崎県	市町村	高千穂町
地区名	天岩戸地区		
施設の名称	仮称 観光交流施設(門前通り)		
事業費(百万円)	126.0	延べ床面積(m ²)	200
事業期間	H30～R2		
年度計画(百万円)	H30:26(用地、設計) R1:96(設計、建設) R2:4(建設)		
事業の熟度	施工中	建設	○ 購入
施設の概要	岩戸地区を訪れる観光客に対する情報発信、観光客と地域住民との交流拠点となる。施設用途としては、魅力ある観光資源(自然・歴史・文化)の情報発信施設、天孫降臨伝説・神楽等の紹介・体験施設である。		
維持管理費(人件費含む)	10,000千円/年		
支援対象	<ul style="list-style-type: none"> ・天岩戸地区総合観光内所 ・天岩戸地区の歴史文化(岩戸五社、神楽)の紹介・体験コーナー 		
ハコモノ要件	○	①維持管理費を算出し国に提出している	
	○	②郊外からの移転・統廃合・他施設との合築・個別施設計画・PRE活用計画への明確な位置付け	
	○	③三位一体改革で税源移譲対象となっていない	
	○	④他省庁の補助制度がない ※他省庁へ補助制度がないことを確認すること。	
		⑤計画・設計段階から民間ノウハウを活用して効率的なサービス提供や施設規模の適正化等を検討するとともに、民間資金等の活用を検討すること。 ※誘導施設のみ	
必要性等	<p>当該施設予定地が立地する岩戸地区には、高千穂町を象徴する観光資源である天岩戸神社が立地し、天岩戸神社の参道を形成門通りは同地区の商業拠点としての位置づけにあるが、通りを歩く観光客は少なく、にぎわい感に乏しい現状にある。このことから、集客性の高い観光資源が立地するポテンシャルを活かし、通りへの観光客による活気づくりの拠点形成を図る観点から当該施設の整備が必要である。</p> <p>高千穂町は天孫降臨伝説にまつわる史跡や神楽などの歴史・文化資源や観光資源が立地しているが、それらの情報発信機能が不足しており、岩戸地区の総合的な情報発信拠点の形成を図る観点から当該施設の整備が必要である。三田井地区のまちづくり活動の一環として開催されたまちづくりワークショップにおいても中心市街地の観光拠点としての機能(情報発信、神楽等の体験)形成に対する要望が高い。</p>		
利用見込み	<p>類似施設である天岩戸神社徴古館の平成26年の年間利用者数215,000人と同等を見込む。</p>		
	年間	200,000	人